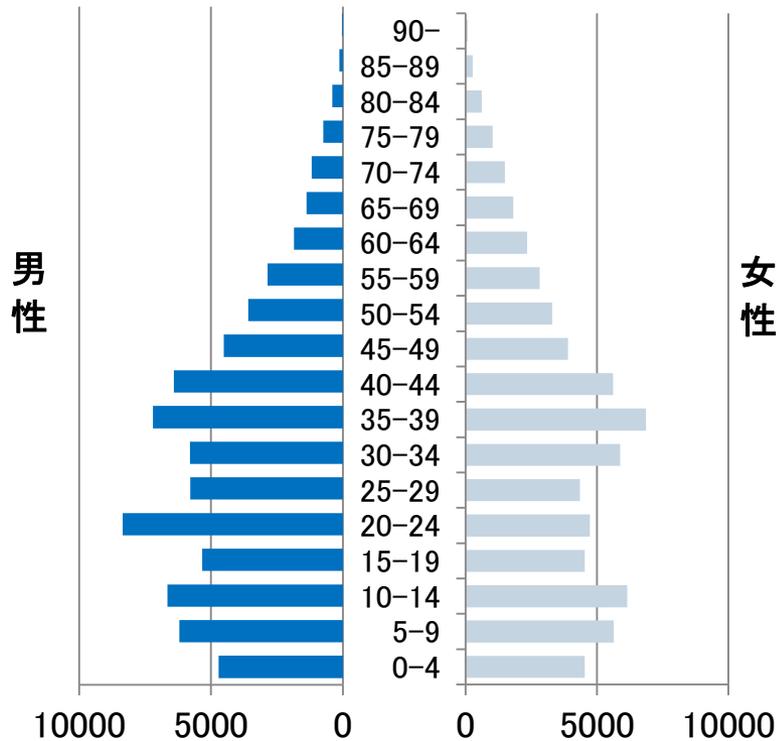


公共施設使用料の見直し案について

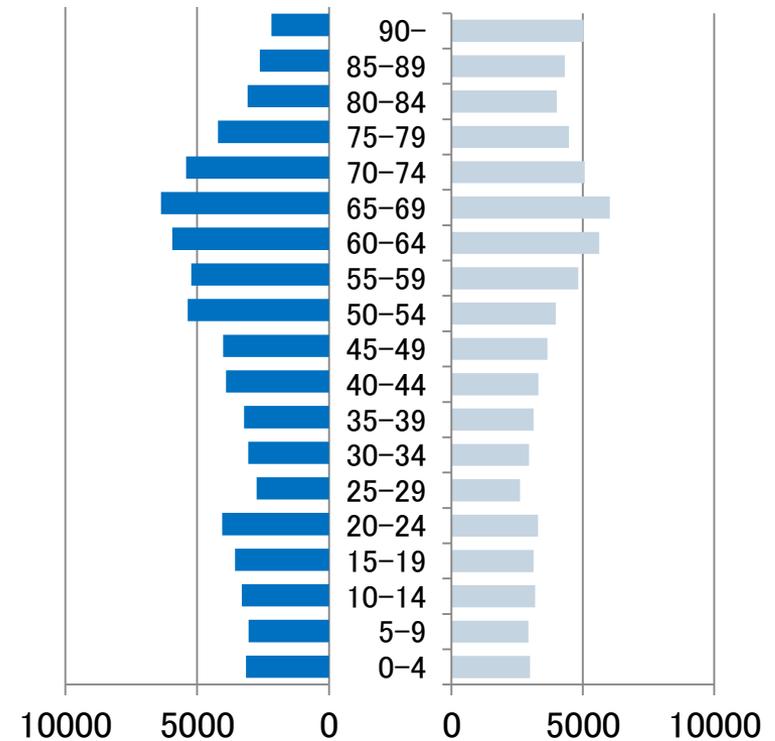
平成28年11月14日 秦野市政策部公共施設マネジメント課

秦野市の人口構成が大きく変化していきます

昭和60年(1985年)



平成52年(2040年)

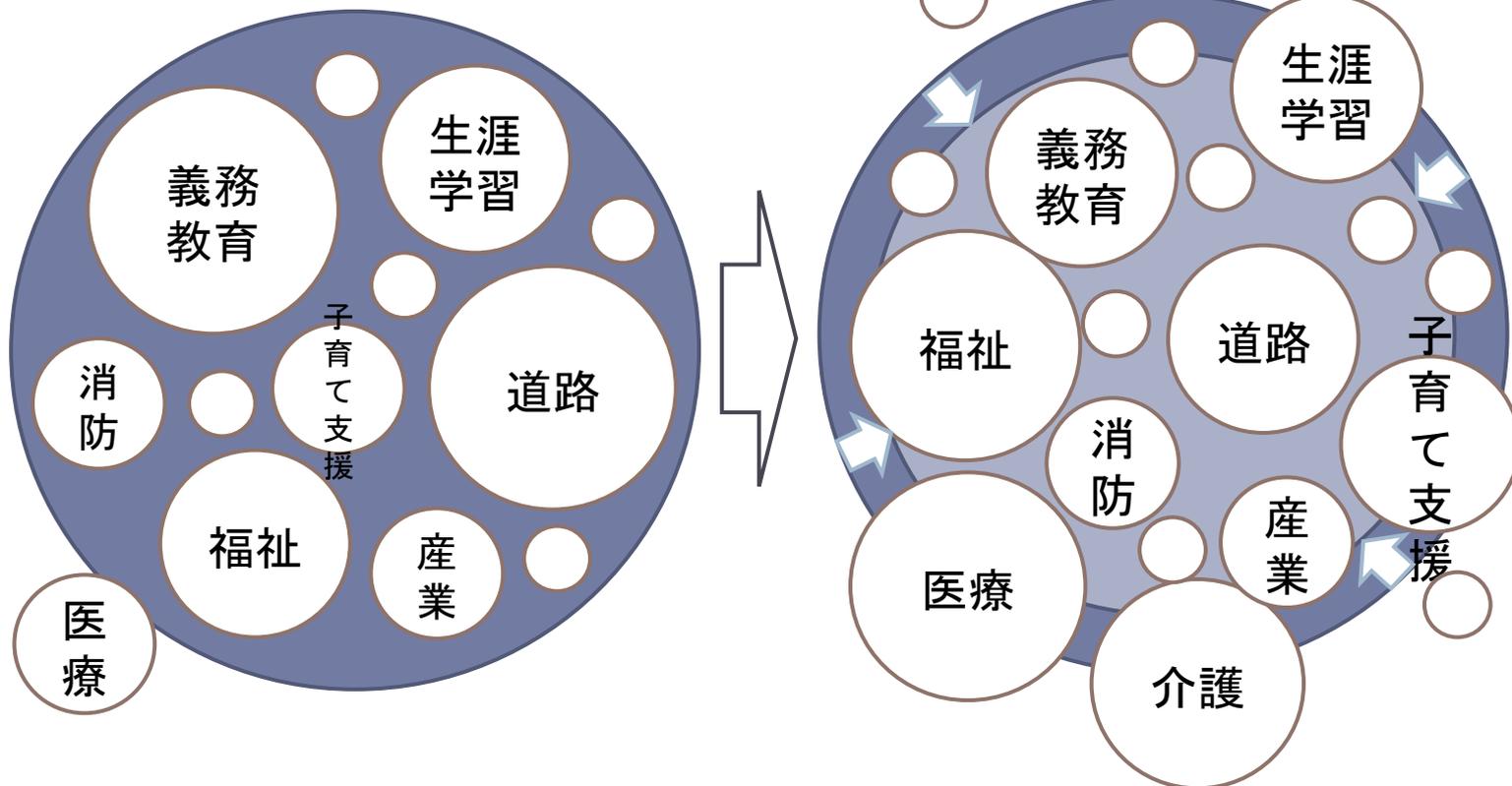


- 秦野市の人口増加が一段落した昭和60年、秦野市の人口構造は、下側(若年者層)がどっしりとした壺型でした。
- 今から25年後の秦野市は、同じ壺型でも上側(高齢者層)が膨らんだ壺になる見込みです。

税金の役割が大きく変わっています

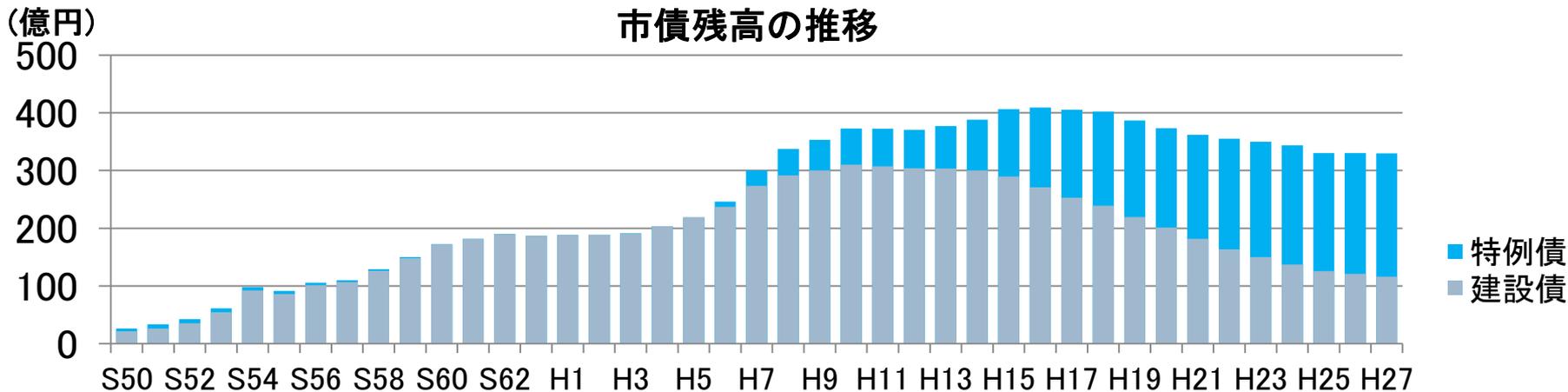
過去

現在と未来



- 医療や介護に関するお金(特別会計への繰出金)は、今では税に大きく依存し、今後もこの傾向は拡大していきます。また、子育て支援なども含めた福祉全体に必要なお金(扶助費)も増加の一途をたどっています。
- 税の役割が拡大しても、人口減少(特に生産年齢人口の減少)により税収が増える見込みは立ちません。税の使い方を見直す必要があります。

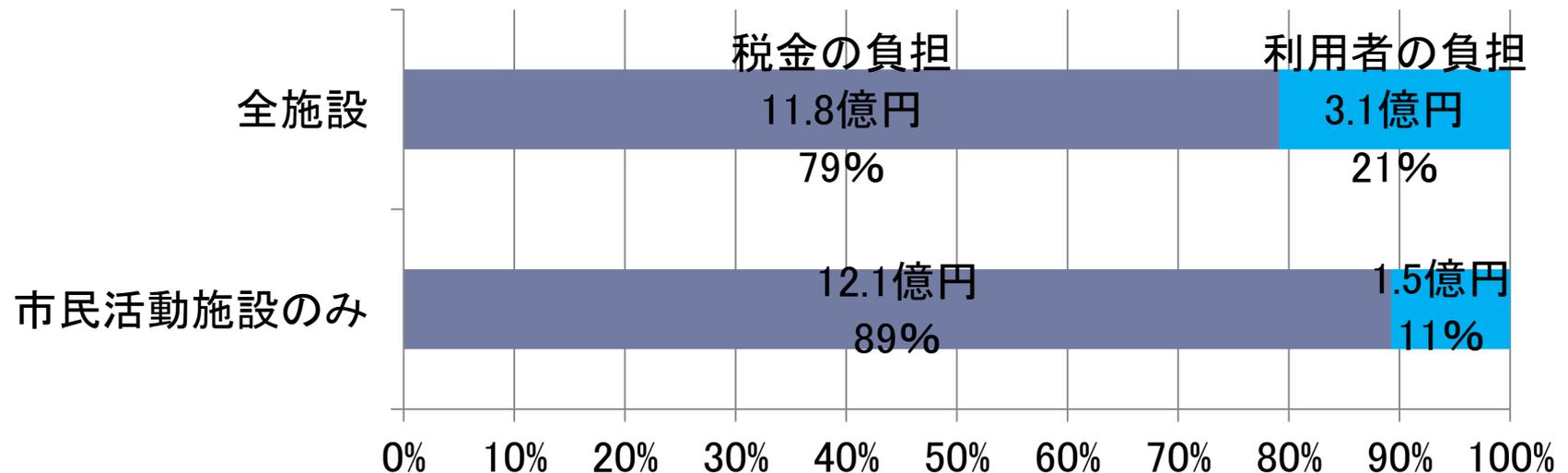
公共サービスの一部は、 「将来の市民」の負担で行われています。



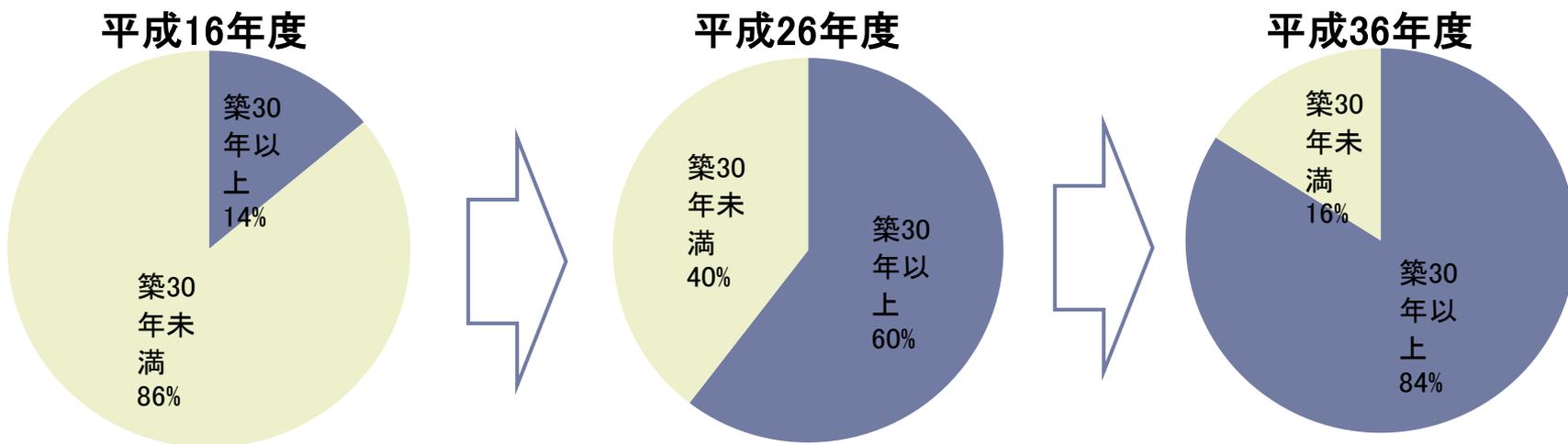
- ▶ 道路や学校などの公共施設は、長く使うので、「将来の市民」にも恩恵があります。そのため、費用の一部を「将来の市民」にも負担していただく仕組みが建設債です。
- ▶ 現在、本市の借金の3分の2近くは、現在の市民に対するサービスに使ったお金で、地方交付税の不足を補うために法律で認められた仕組み(特例債＝臨時財政対策債)ですが、これも「将来の市民」の負担となります。
- ▶ 平成26年度は、この借金がないと今のサービスを維持するために最低限必要となるお金を賄うことができませんでした(一般財源に占める義務的経費の割合＝経常収支比率は100%を超え、平成21・22・25年度に続き4回目)。

市民の誰もが使える公共施設は、 どれくらいあるの？

- ▶ 図書館、文化会館、体育館、公民館など、65の施設があります。
- ▶ これらを維持するために1年間に必要となる経費は、約14.9億円、このうち使用料収入は約3.1億円(経費の約21%)です。(H25決算)
- ▶ この中から、経費のほとんどを利用者の負担で賄っている特殊な施設(弘法の里湯、駐車場、駐輪場)を除き、市民の皆さんの活動などに利用できる施設に限ると、1年間に必要となる経費は、約13.5億円、このうち使用料収入は約1.5億円(経費の約11%)です。(H25決算)



財政状況が厳しさを増す中、 一斉に老朽化が進行します



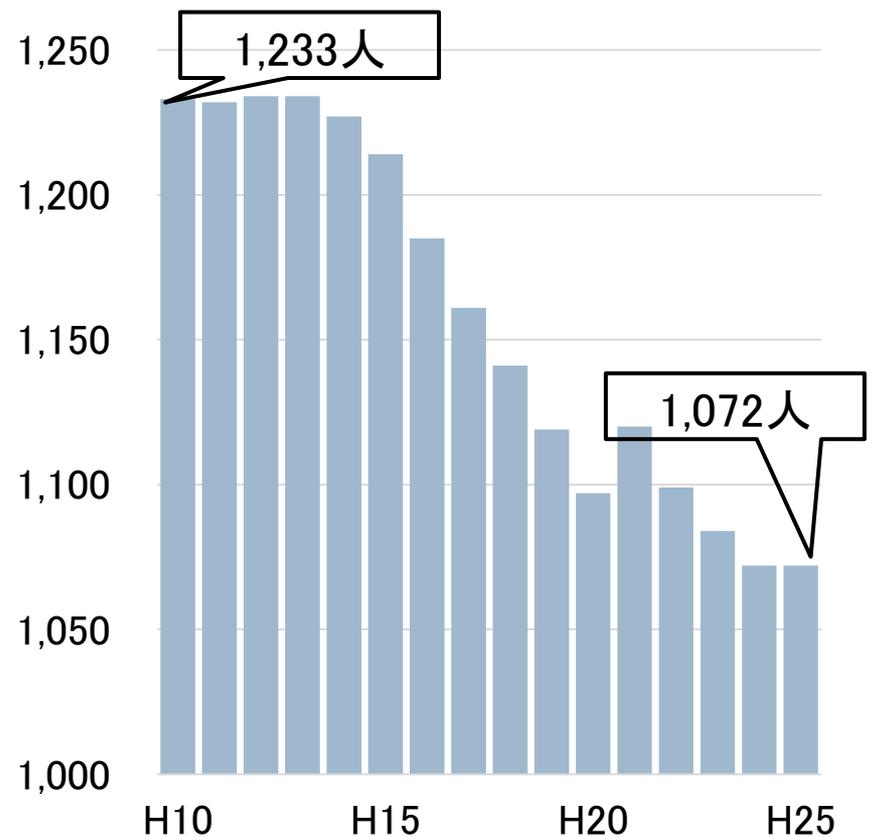
- ▶ 人口急増期に集中して建ててきた公共施設は、今後10年で一斉に老朽化が進行します。
- ▶ 昭和40年代、50年代に急増した人と建物は、同時に年を取り、同時にお金がたくさん必要になりますが、かけるべきときにお金をかけなければ、安心な暮らしと、安全な公共施設を維持することができなくなってしまいます。

市では、これまでにさまざまな歳出削減の取組みをしてきました

行財政改革の取組み

職員給与の改革など	22.7億円
業務委託の推進など	8.4億円
財産の有効活用など	12億円
⋮	
⋮	
平成16年度～20年度 平成23年度～25年度 の効果額合計	63.2億円

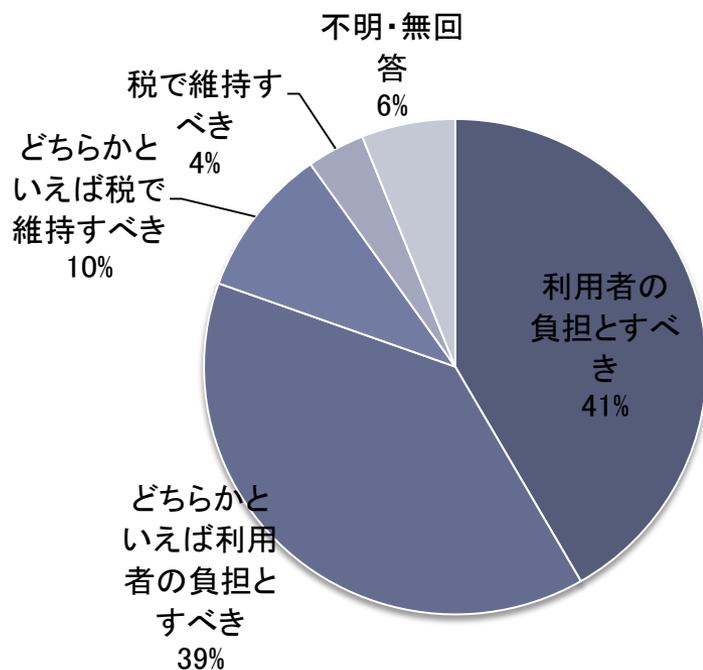
職員数の削減



多くの市民は、どう思っているの？

市民アンケート調査(H28.8)

公共施設の管理・運営に必要な経費の負担については、どのようにすべきと思いますか。(回答者数348人)



348人の回答で市民の意識を表せるのですか？

- ▶ このような調査方法を標本(サンプル)調査といいます。
- ▶ 標本(サンプル)調査には、必ず標本誤差が含まれます。
- ▶ 標本数350の場合、信頼水準95%である標本誤差は最大5.3%です。(100回同じ調査を行っても95回は、回答者割合は前後5.3%以内に収まります。)
- ▶ 各回答割合に対する誤差は次表のとおりです。この結果は、市民全体の意識を正しく反映しています。

回答肢	郵送	n= 348
① Aの考えに近い。	(36.4%) ~ 41.7% ~ (47.0%)	
② どちらかといえばAの考えに近い。	(33.6%) ~ 38.8% ~ (44.0%)	
③ どちらかといえばBの考えに近い。	(6.6%) ~ 9.8% ~ (13.0%)	
④ Bの考えに近い。	(1.7%) ~ 3.7% ~ (5.7%)	
不明・無回答	6.0%	

()内は、信頼水準95%である標本誤差を加減した回答率

見直しの内容は？

- ▶ 平成26年11月に策定した「公共施設の使用料の適正化に関する方針」に基づき算定しています。
- ▶ 使用料は、稼働率50%で公共施設にかかるフルコスト(光熱水費や委託料に加え人件費や建物の減価償却費を含む)の3分の1負担を基準としています。
- ▶ ただし、見直しの幅は、現在の2.5倍までを限度とします。
- ▶ 現在無料の施設も、ボランティア活動等に使用する場合を除き、有料化します。
- ▶ 新たに図書館視聴覚室、カルチャーパーク管理棟多目的室を開放します。
- ▶ 子育て世代の負担軽減を図ります。
- ▶ 平均の改定率は、約55%引き上げとなります。

使用料の見直しは、秦野市の行財政運営の重要課題の一つとして、全庁的に取り組んでいます。

問い合わせ先

〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号

政策部公共施設マネジメント課 TEL0463-82-5122（直通）

Mail:koukyousisetu@city.hadano.kanagawa.jp



今までにいただいた質問の代表例①

「2.5倍の値上げは高すぎる。」

- ▶ 限度は、有識者で構成する秦野市行政改革評価委員会(当時)での「将来の市民に対しても責任あるものとするように」との議論を踏まえ、決定しました。使用料の見直しは、税の使い方の見直しであり、子どもたちの世代にかかる負担の見直しでもあります。公共施設は、団体利用が基本なので、利用者一人一回当たりの負担は、数十円の増になると思います。また、今回の改定をもつてもなお、利用者の負担割合は、年間の管理運営費に対して16%程度であり、引き続き、公共施設を利用しない多くの市民からの税金にも支えられることとなりますので、御理解をお願いいたします。

「使用料の値上げにより、高齢者の活動が妨げられる。このことは、医療費や介護費の上昇になり逆効果である。」

- ▶ 高齢者が趣味や生きがいを持って活動することは、たしかに医療費や介護費用の抑制につながると考えます。しかしながら、情報通信技術や交通網の発達により、その手法や選択肢は様々です。秦野市の老年人口は、43,700人です(H27国調)。公共施設を使用する一部の高齢者の活動が低下したとしても、見直しの効果を上回る影響が現れるとは考えておりません。

今までにいただいた質問の代表例②

「公民館は、社会教育法に基づく施設であり、法の理念を果たすためには、値上げをするべきではない。」

- ▶ 市民の皆さまが知識や教養の向上を図るための選択肢は様々です。現代においては、民間事業者が行う教育活動も社会教育と認められています。こうした中で、一部の市民が特別の利益を受けることとなる公共施設の利用に関しては、応分の負担をしていただく必要があります。

「秦野市は、貯金を増やし、借金を減らしていると聞く。値上げをしなくてもよいのではないか。」

- ▶ 人口の中でも、生産年齢人口の減少が顕著であり、今後の税収の伸びは期待できないどころか、減少していく可能性もあります。将来の市民に過大な負担を残さないようにしながら、大切な公共施設サービスを残していくためには、できるだけ基金を増やし、市債残高は減らしていくことが必要です。なお、秦野市の市民一人当たりの基金残高は、813市区の中で下から44番目です（H26決算）

今までにいただいた質問の代表例③

「公共施設の使用料に人件費を含めることは、地方財政法に違反している。」

- ▶ 地方財政法には、「市町村は、法令の規定に基づき市町村の負担とされている経費について、住民にその負担を転嫁してはならない。」と規定し、その中に人件費を含めています。この規定は、民主的な手続きを経ない税外負担を禁止したものであるとともに、公共施設の使用料は、この経費には該当しません。御質問の内容は、法解釈の誤りです。

「公共施設の利用者を増やせば、値上げをしなくても収入は確保できるはずだ。」

- ▶ 公共施設の管理運営費用には、利用者の数に左右されない固定的経費と、利用者の数によって増減する変動的経費があります。現在の使用料の水準は、この変動的経費を下回っていることから、利用者が増えれば増えるほど、税による負担分が多くなってしまう可能性が高いと考えています。したがって、まず、負担水準の引き上げを行わなければ、利用者の増加策は、逆効果をもたらす恐れがあります。

今までにいただいた質問の代表例④

「カルチャーパークの整備のようなお金を節約すれば、見直しはいらぬのではなぬか。」

- ▶ 公共施設は長く使うものなので、維持補修のため、あるいは、その時代に合わせた姿にするため大規模改修が行われます。今回の整備は、カルチャーパークが中央運動公園として開場して以来、40年で初めて行う大規模な改修であり、バリアフリー化も目的としたものでした。H23～H27に要した改修事業費は、約28億円でしたが、カルチャーパークのエリアには、利用者をカウントできる施設だけでも年間100万人の市民が訪れます。ちなみに、公民館11館の整備に要した費用は、45年間で60億円、年間の利用者は50万人です。何をどこまで、いくらのお金をかけてやるのかという議論は、尽きないと思います。また、何を無駄と思うかも人により様々だと思いますが、税の使われ方について、より多くの市民に納得がいただけるように、説明に努めていかなければならないと考えています。

使用料改定案一覧(H28.11.14 現在)

10月14日時点案と異なる部分

(10/14 時点)

施設名	部屋名	現行使用料(円) 記載のないものは 1時間あたり	改定使用料(円) 記載のないものは 1時間あたり
西公民館	大会議室	400	800
	会議室	200	100
	小会議室	200	100
	和室	200	200
	調理室	200	100
	視聴覚室	200	100
上公民館	大会議室	400	800
	会議室	200	300
	和室	200	400
	調理実習室	200	300
	創作活動室	200	300
	南公民館	大会議室	600
	会議室	200	200
	学習室	200	100
	和室	200	200
	調理室	200	100
	視聴覚室	200	100
北公民館	大会議室	600	1,200
	会議室	200	400
	和室	200	400
	調理実習室	200	400
	創作活動室	200	200
	音楽室	200	300
大根公民館	ホール	400	800
	会議室	200	100
	学習室	200	200
	和室	200	500
	調理実習室	200	200
東公民館	大会議室	400	800
	会議室A	200	300
	会議室B	200	100
	和室A	200	300
	調理室	200	200
	和室B	200	200

鶴巻公民館	大小会議室	400	800
	コミュニティー室	200	400
	和室	200	500
	調理室	200	300
	創作活動室	200	300
	音楽室	200	400
渋沢公民館	大会議室	600	1,200
	会議室	200	300
	和室	200	500
	調理実習室	200	400
	創作活動室	200	400
	音楽室	200	500
本町公民館	大会議室	600	1,200
	中会議室	200	300
	小会議室	200	100
	和室	200	500
	調理室	200	300
	創作活動室	200	300
	音楽室	200	500
	南が丘公民館	大会議室	600
	小会議室	200	200
	セミナー室	200	400
	和室	200	500
	調理実習室	200	500
	創作活動室	200	400
	音楽室	200	500
堀川公民館	大会議室	600	1,200
	会議室	200	400
	和室	200	400
	調理室	200	300
	創作活動室	200	300
	音楽室	200	300
宮永岳彦記念美術館	市民ギャラリー	1日 2,500	1日 5,000
図書館(視聴覚室)	視聴覚室	新規	800
ほうらい会館	生活改善室	200	200
	和室	200	400
	会議室	200	400
	集会室	200	400(500)
	小会議室	200	200

表丹沢野外活動センター	キャンプ場	1人1日 100	1人1日 200
	研修室1	200	300
	研修室2	200	300
	研修室3	200	300
	研修室4	200	300
	研修室5	200	300
	研修室6	200	300
	研修室7	200	300
	研修室8	200	300
	研修室9	200	300
	展示室1	200	300(400)
	展示室2	200	300(400)
	展示室3	200	300(400)
	展示室4	200	300(400)
	展示室5	200	300(400)
	活動室	1,000	1,700
	調理室	300	600
	広場	200	400
	いろり棟	新規	600
曲松児童センター	会議室A	200	300
	会議室B	200	200
	調理室	100	100
	和室	200	200
文化会館	大ホール	8,900	10,900(11,500)
	楽屋1(大)	120	180(200)
	楽屋2(大)	120	180(200)
	楽屋3(大)	100	100
	楽屋4(大)	100	100
	楽屋5(大)	100	100
	シャワー室・浴室	160	180(200)
	小ホール	2,500	3,200
	楽屋1(小)	100	100
	楽屋2(小)	100	100
	楽屋3(小)	100	100
	シャワー室(小)	100	100
	リハーサル室	300	400
	主催者事務室	100	100
	展示室	1,000	1,000
	第1会議室	500	600

	第2会議室	200	300
	第3会議室	500	600
	和室	400	500
	第1練習室	400	500
	第2練習室	200	300
	第3練習室	300	400
総合体育館	メインアリーナ	2,100	4,200
	サブアリーナ	700	1,400
	第1武道場	500	1,000
	第2武道場	500	1,000
	弓道場	400	800
	トレーニングルーム	1人1回 300	1人1回 400
	第1会議室	100	300
	第2会議室	50	200
	第3会議室	50	200
サンライフ鶴巻	体育室	700	800
	創作活動室	300	200
	大会議室	300	300
	特別会議室	200	200
	和室	200	200
	トレーニングルーム	1人1回 250	1人1回 350
カルチャーパーク	野球場	1,000	2,000
	陸上競技場	3,000	5,000(6,000)
	庭球場	400	500
	プール	1人1回 200	1人1回 200
おおね公園	庭球場	300	400
	多目的広場	800	1,600
	温水プール	1人1回 450	1人1回 600
	トレーニングルーム	1人1回 300	1人1回 400
立野緑地庭球場	庭球場	300	500
中野健康センター	和室・多目的室	800	800
	トレーニングルーム	1人1回 200	1人1回 300
保健福祉センター	多目的ホール	1,000	1,500
	第1会議室	100	100
	第2会議室	200	200
	第3会議室	500	500
	第4会議室	800	800(900)
	和室	200	300

	教養娯楽室		900		1,200
里山ふれあいセンター	木工実習室	1人1回	200	1人1回	300
	研修室		200		400
広畑ふれあいプラザ	学習室1		0		300
	学習室2		0		300
	創作活動室		0		300
	和室1		0		300
	和室2		0		300
	調理室		0		300
	多目的ホール		0		800
末広ふれあいセンター	会議室		0		200
	調理室		0		200
	洋室		0		200
	伝統文化継承室		0		200
	和室		0		200
	世代間交流室		0		300

※複数の料金体系があるものについては、代表的な料金のみ表示

その他の変更事項

- ① 公民館の卓球台の共用利用は、1台単位から一人1回単位の料金設定に変更
- ② 平均改定率約57%引き上げ→約55%引き上げ